

(仮称) 内野地区集会施設の経緯及び検討委員会について

1 経緯

旧内野町は、新川開削、新田開発などにより、地域の産業、文化、行政などの中心として栄えてきた。

新潟市への合併後は、ベッドタウンとして人口が増加し、新潟大学の移転後は本市の学園都市の一翼を担ってきたものの、各種行政施設の縮小、統合などにより中心性が薄れ、商店街も往時の活気がなくなっていると言われている。

また、内野地区においては、西地区公民館等の利用率が高く、地域活動等のための部屋の確保に支障が生じ、地域の方々にご不便をおかけしている状況にある。

さらに、現存する西出張所、同分庁舎も老朽化し、建替の必要が生じている。

このような状況から、平成23年8月4日に内野コミュニティ協議会会長、内野地区自治連絡協議会会長、新潟西商工会会長、西地区公民館利用団体連絡協議会会長連名で市長あてに、内野地域に相応しい多目的ホール等の早期建設を望む「内野地区における多目的ホールなどの集会施設の建設整備についての要望書」が提出された。

市ではこれを受けて、合併建設計画終了後の平成27年度以降を見据え、旧新潟市地域の中でも早期に整備すべき地区として、平成24年度調査費予算を計上し、集会施設の整備に向け取り組んでいるところである。

市としては、内野地区集会施設を今後の同地区のまちづくりを支援する施設としてとらえ、建設に向け整備方針を決めるにあたって、市民参画のもとで幅広い意見を頂くため、(仮称)内野地区集会施設検討委員会を設置する。

2 (仮称) 内野地区集会施設検討委員会について

(1) 検討委員会の位置づけ、方針

この検討委員会は要綱に基づき設置される「懇話会等」である。

検討委員会では、来年度(H25年度)基本設計を行うにあたり、内野地区のまちづくりを見据え、内野地区にふさわしい集会施設の機能、内容、建設候補地などについて幅広い意見を頂き、基本構想策定に反映する。

(2) 検討いただく内容

ア 第1段階—— 集会施設の役割、機能、建設候補地など基本的な整備方針(案)を検討

- ・内野地区に必要なまちづくりの視点と期待する集会施設の役割
- ・役割を踏まえた必要な集会施設の機能
- ・望ましいホールや必要とする施設
- ・建設候補地

イ 第2段階 —— 施設内容、全体イメージ、基本コンセプトなど基本構想（案）を
検討

- ・施設の具体的な内容検討
- ・建物全体のイメージ、共用部分（ホワイエ）
施設の基本コンセプトなど
- ・運営への市民の関わり方（施設を活かす観点から）
- ・基本構想（案）
- ・その他（上記以外にも検討すべき項目があれば検討課題とする）

※基本構想（案）に記述すべき内容等

これまでの経過やまちづくりの方向、施設の必要性
基本コンセプト（基本的考え方）
集会施設の持つべき機能、果たす役割などについて
建設の概要（施設規模・内容）
建設候補地
その他

(3) 検討スケジュール(案)

会 議		時 期	会議内容
第1段階 整備方針 の策定に 向けて	第1回	10月15日	会長、副会長選出 概要説明、意見交換
	第2回	11月上旬	施設視察
	第3回	11月下旬	視察を踏まえた意見交換 施設の役割、機能等の検討
	第4回	12月中～下旬	施設の役割、機能等の検討 課題の整理、意見交換
	第5回	平成25年2月 上～中旬	基本的な整備方針案のまとめ
第2段階 基本構想 の策定に 向けて	第6回	〃 5月	施設内容の検討
	第7回	〃 6月	施設内容、施設全体の検討
	第8回	〃 7月	意見集約、整理
	第9回	〃 8月	基本構想たたき台、意見交換
	第10回	〃 9月	基本構想案のまとめ